

Governor's Monthly Letter

2022年4月号
Vol.10

2021-2022年度

国際ロータリー第2640地区

ガバナー月信

4月は「母子の健康月間」です

地区スローガン「広げようロータリーの光を！」

写真「岸和田城の桜」



ガバナー 豊岡 敬

ガバナー事務局



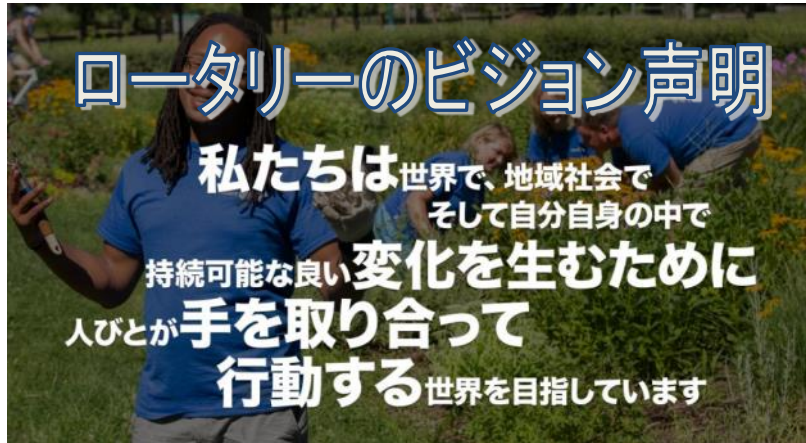
奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

〒640-8331
和歌山市美園町3丁目34番地
けやきONE 301号室
TEL 073-426-2640
FAX 073-426-2660
E-mail toyooka@rid2640g.com

CONVENTION.ROTARY.ORG

ヒューストン(米国テキサス州) 2022年6月4～8日

Rotary   HOUSTON
2022



世界を変える行動人

2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

より大きなインパクトをもたらす



参加者の基盤を広げる



参加者の積極的なかわりを促す



適応力を高める



目次

RI会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	2
4月は「母子の健康月間」です。	3
ロータリー財団 ウクライナ地域の支援窓口を設置	4
ウクライナ危機の中で強まる決意	5
【Rニュース】	
ロータリー ウクライナ難民に迅速な人道支援	6
【地区活動報告】	
2021-2022年度 国際ロータリー第2640地区 地区大会	7
2022-23年度のための会長エレクト研修セミナー(PETS) ...	8
ロータリー財団補助金管理セミナー	9
【クラブ活動報告】	
「こども絵画コンクール」岩出RC	10
第12回 ロータリーカップ2022 河内長野東RC	11
計報	12
ハイライトよねやま Vol.264	13~14
コーディネーターニュース 4月号	15
会員数報告(2022年2月)	16
My ROTARY登録状況	17
4月の行事予定表	18

表紙写真は、岸和田東RC寺田美昭会員から提供の「岸和田城の桜」です。

2022-2023年度 テーマ



PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

RI 指定記事

国際ロータリー会長
シェカール・メータ

親愛なるチェンジメーカーの皆さん

私のロータリーにおけるスローガンの一つに、「もっと行動し、もっと成長する」があります。皆さんもこの言葉をスローガンにしてくださっていることでしょうか。「もっと行動する」とは、より大規模で、より大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やすことを意味します。

「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」の取り組みで、ロータリーファミリー全体が大いに沸いています。世界中のどこに行っても、クラブ会長からガバナー、ベテラン会員から新会員まで、どのロータリーの会員も、自分たちの会員増強の取り組みがロータリー全体にインスピレーションを与えていることを評価しています。

ロータリーがさらに大きくなり続ける中、6月にヒューストンで開催されるロータリー国際大会で皆さんと一緒にこのことを祝うのが今からとても楽しみです。ご登録と大会参加の準備はまだ十分間に合います。これまでずっと離れ離れになっていた会員たちが一堂に会する、一期一会のこの機会を誰もが心待ちにしています。

ロータリーがもっと成長する中で、もっと行動する機会は今後も数多く訪れることでしょう。4月は「母子の健康」月間です。母親と幼児の健康に関する支援活動を検討する絶好の機会です。世界中の女性と子どもが質の高い医療を受けられるようにすることは、ロータリーにとって重要な取り組みであり、また、女兒のエンパワメントのイニシアチブとも見事にかみ合います。この重点分野においてさまざまなクラブが素晴らしい取り組みを実施しています。さらに、もっと行動する方法をぜひご検討いただきたいと思います。

会長主催会議では、世界中から集まったロータリーの会員が持続的で大きな変化を世界にもたらすため、重点分野に沿ったアイデアをシェアしました。その様子に心躍るも

のを覚えました。今年度の会長主催会議では、ロータリーの新しい重点分野である「環境」を取り上げています。地球を保護するための活動が、特に最も貧しいとされる地域で、いかに地域経済を発展させつつ、地球環境を保護していくか検討しています。

スコットランドのグラスゴーで開催されたCOP26(気候変動枠組条約締約国会議)では、光栄にも講演する機会を得ました。この重要な会合では、2週間にわたって100人近くの国家元首や政府首脳が集まり、化石燃料排出量に関する新たな目標を設定しました。私がここで呼び掛けたのは、沿岸部の気候変動の影響緩和を担う貴重な生態系、マングローブ樹林の再生です。既に、世界各国がこの計画に大きな関心を示しています。

人類の生存が危機にさらされています。環境の破壊的状況は既に現れています。そして、世界で最も困窮している人々を貧困から救い、希望を与えるはずの私たちの力も脅かされています。人道的目標を達成するために必要な経済成長を維持しながら、同時に地球を守る方法を見つけなければなりません。

世界でロータリーが必要とされている今こそが、ロータリーにとって最も心躍る時です。人生を豊かにするために奉仕することによって、自分たちも豊かになっていくことを忘れないでください。私たちは、世界を代表する変革者・平和構築者になりつつあります。

世界はロータリーを必要としています。今こそ、その期待に応える時です。

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Shekhar Mehta

President, Rotary International

ガバナー メッセージ

2021-22年度 国際ロータリー第2640地区

ガバナー 豊岡 敬

4月は「母子の健康月間」です。

わが子が誕生したのは、今から30年近く前のことになります。その時のことは、いまでも鮮明に記憶に残っております。寒い冬の日の深夜であり、大阪では珍しく雪が積もっていました。私は、新しい命の誕生を祝福し、嬉しさをかみしめていました。どこのご家庭でも、わが子の誕生は非常な喜びであれ、健やかに逞しく育てと祈っているはずです。それは日本でも遠い異国でも同じはず。新しい命の誕生は、我々の希望であり未来であります。しかしながら、祝福されて生まれてきたの、5歳未満で命を落とす子供が、世界では推計で毎年590万人にのぼっています。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと思います。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長ができるように、私たちロータリーは支援活動を行っています。各クラブにおかれても、母子の健康に寄与する奉仕活動に参加し、助かるはずの命を助けましょう。



2月24日にロシア軍がウクライナに侵攻して、危機的な状況が続いています。テレビの映像を通じて、ウクライナ各地の状況が伝えられます。その中でも、特に胸を痛めるのは、被害を受ける子供達の様子です。罪のない子どもたちが軍隊の侵攻により、命を落とし負傷することは、大変悲しいことです。ロータリーは、人道的な支援を行っています。ウクライナ危機においては、ロータリー財団が支援の正式な窓口として災害救援基金を指定致しました。2022年6月30日までに寄付された資金は、ウクライナ及び国境を接する地区は、補助金申請をすることができ、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用されています。ロータリー財団を通じてウクライナ危機へのご支援をお願いいたします。

ウクライナ支援 R財団災害救援基金へのご寄付



ロータリー財団は、ロータリー地区が実施している救援活動を支えるために世界中のロータリー会員や一般の方々が寄付することのできる正式な窓口を設置しました。

多くの方々からの温かいご支援のおかげで、現在までに650万ドル以上のご寄付がこの基金に寄せられています。この資金は、災害救援補助金を申請するロータリー地区に配分され、水、食料、シェルター、医薬品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用されます。

援に利用されます。

現在までに、ウクライナでの戦争による被災者支援のために31件の災害救援補助金（総額900,000ドル）が授与されています。

皆様のご協力をお願いします。 <https://www.rotary.org/ja/rotary-responds-ukraine-crisis>

4月は「母子の健康月間」です

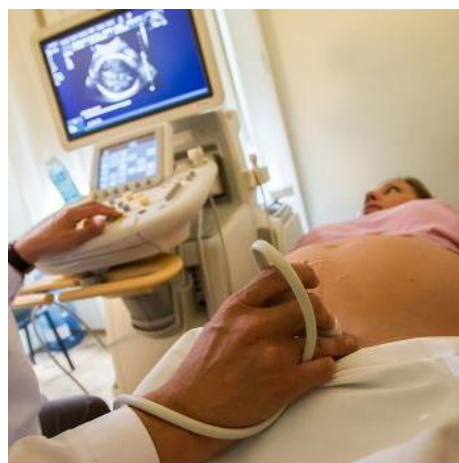
毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。



予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

ロータリーはこんな活動をしています

教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。



安全な出産



幼い命を救う医療支援



持続可能なプログラム

清潔な出産キットの配布、安全な出産方法に関する保健従事者の研修など、妊婦が安全な環境で出産できるよう支援しています。

日本とブラジルのクラブがロータリーの補助金を利用して、新生児の命を救う機器を病院に提供しました。

適切な研修を受けた医者、看護師、助産師、医療従事者によるケアをすべての女性が受けられるよう支援しています。

母子の健康における成果

私たちは、地域社会が自力で母子の健康を守っていけるよう研修と支援を行うことによって、持続可能なかたちで母子の健康を促進しています。

「母親が強く、健康であれば、その家族も強く健康になり、貧困と飢餓も和らぎます」 Robert Zinserさん、人口と開発のロータリアン行動グループ共同創設者、BASF元アジア統括部長



ロータリー財団がウクライナ地域 での直接的人道支援の窓口を設置

ウクライナでの戦争により深刻化する人道的危機への対応として、ロータリー財団は現在、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を世界中の人が寄付することのできる正式な窓口として、災害救援基金を指定しました。

ロータリー財団は以下を承認しました：

現在から2022年6月30日まで、ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区5万ドルまでの補助金を申請できます。迅速な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。

上記の期間、難民やその他の被災者への支援を希望する、影響を受けたほかのロータリー地区も、災害救援基金から25,000ドルの補助金を申請することができます。

現在から2022年4月30日まで、ロータリー地区は未配分の地区財団活動資金(DDF)を災害救援基金に充て、ウクライナと関連する人道的補助金を支援することができます。

ウクライナ支援のための災害救援基金への寄付は、こちらからお寄せいただけます。ウクライナでの救援活動を支援するための災害救援基金へのご寄付は、2022年4月30日までに行う必要があります。

ロータリー財団を通じた支援は災害救援基金が主な窓口となりますが、ロータリークラブとローターアクトクラブもウクライナでの人道的危機に対して独自の支援を行うことが奨励されています。

災害救援基金を通じた支援に加え、財団はパートナー団体や地域リーダーと協力し、増加する人道的ニーズへの効果的なソリューションを模索しています。

国連難民高等弁務官事務所(米国)と協議し、ウクライナや近隣諸国で行き場のない人びとのニーズに対応するための準備を進めています。

災害救援におけるプロジェクトパートナーであるシェルターボックスは、東欧のロータリー会員と連絡を取り、一時的な住居やほかの必要物資の提供方法について検討しています。

「難民、強制退去者、移住者のためのロータリー行動グループ(The Rotary Action Group for Refugees, Forced Displacement, and Migration)」は、この危機への対応としてグループのリソースを集結させています。

すでに200万人以上がウクライナから避難しており、緊急支援が早急に必要となっています。国連は、避難する人の数が500万人に上る可能性があるかと推測しています。ヨーロッパや世界のロータリークラブが救援活動に乗り出しており、中には避難者を支援するために現地で活動しているクラブもあります。

ロータリーでは、ウクライナと近隣諸国での状況を引き続き注視していきます。クラブによる支援方法や、ロータリー会員にできること、現地の人びとへの影響等に関する最新情報は、ロータリーのソーシャルメディアをフォローしてご覧ください。

ご質問はロータリーお問い合わせ rotarysupportcenter@rotary.org

ウクライナ危機の中で強まる決意

過去と現在の紛争により大きな影響を受けてきたウクライナでは、ロータリー会員たちの決意がますます強まっています。

農業大国で、技術的・戦略的に大きな重要性をもつ国、ウクライナ。歴史的に波乱に満ちたこの国では、2月に勃発したロシアとの戦争が日増しに激しくなっており、ヨーロッパで第二の面積を誇るこの国でのロータリーの未来を世界中の会員が憂慮しています。

しかし、この混乱の中でも、ウクライナのロータリー会員はレジリアンス(強靱性)と平和への揺るぎない決意を示しています。戦闘が激化する中、現地でのロータリーの状況、また世界中のロータリークラブによるウクライナ支援の現状について、現地の方々から報告が寄せられています。

過去と未来に目を向ける

『Rotariets』誌(ウクライナのロータリー地域雑誌)からの報告

ウクライナのロータリーの基本情報をお知らせします。現ウクライナ国境内で最初のロータリークラブは、1930年代に加盟認証されたウジゴロド(Uzhgorod)、チェルノフツィ(Chernivtsi)、リヴィウ(Lviv)の三つのロータリークラブです。第二次世界大戦中、戦争地域のロータリークラブは解散し、冷戦中には共產圏のクラブも解散を余儀なくされました。

ソ連の崩壊後、欧州と北米の複数のクラブが旧ソ連内でのロータリーの復活を模索しました。そこで重要な役割を果たしたのが、国際ロータリー現CEO兼事務総長であるジョン・ヒューコ氏の父、ルボミール・ヒューコさんでした。ルボミールさんとその家族は、第二次大戦中にウクライナを逃れて米国に移住。長年を経てクラークストン・ロータリークラブ(米国ミシガン州)会長となったルボミールさんは、ウクライナの病院への医療物資の寄贈、 Cholnoky 原発被災者の支援、恵まれない人びとへの眼科手術を行う医師の募集など、数々の奉仕プロジェクトを実施しました。1991年のウクライナ独立後には、首都キーウで初のロータリークラブ設立を援助し、息子であるジョン・ヒューコ氏が同クラブの創立会員となりました。

1990年代初期、ウクライナは、ほかの旧ソ連国およびフィンランドの一部とともに、第1420地区に属していました。その後も数回にわたり地区再編が行われ、2000年7月1日にウクライナとベラルーシがポーランドを含む第2230地区に統合されました。これら3国でロータリーは順調に成長し、2016年7月、同地区は第2231地区(ポーランド)と第2232地区(ウクライナとベラルーシ)に分割されました。

2014年のロシアによるクリミア併合、およびドネツク州とルハンスク州(合わせて通称ドンバス地方)での武力紛争により、ウクライナでのロータリーの発展が妨げられてきました。クリミアおよび現在ロシア占領下にあるドンバス地方には、2013年の時点7つのロータリークラブがあり、会員数は合わせて110人でした。このうち今も存在するのは、クリミアにあるシンフェロポリとアルシュタの2クラブのみです(2クラブを合わせた会員数14人)。



平和を心に抱いて

ユリア・ザリコバさん(キーウ・アドバンス・ロータリークラブ幹事)からの報告

キーウ・アドバンス・ロータリークラブの歴史は、旧ドネツク・アドバンス・ロータリークラブが設立された2013年末に始まりました。社会奉仕と芸術・音楽への情熱で結びついたこのクラブの会員たちは、才能ある若者を支援し、市内の教育プログラムを立ち上げようと取り組んでいました。

しかし2014年、ウクライナ東部で武力紛争が勃発。多くのクラブ会員が国内外に逃れることとなりました。キーウに移住した会員4人が「ドネツク・アドバンス・ロータリークラブ」という名で活動を再開することを決意すると、国外に避難した会員やドネツクに残った会員の4人も、クラブにとどまることを決意。こうして8人の会員を維持することができました。

2020年、国際ロータリーの方針に基づき、クラブは正式に名称を「キーウ・アドバンス・ロータリークラブ」に変更。キーウに移転してから多くの会員が入会し、2019-20年度には入会者が最多だったクラブとして第2232地区ガバナーから表彰されました。

クラブは、紛争の経験から、「平和構築と紛争予防」に奉仕プロジェクトの焦点を当てることにしました。その例として、ウクライナ社会のさまざまなレベルでの和解に向けた対話を促進するための研修を2017年から実施しています。これに加え、過去5年間には、戦争や武力紛争の影響を受けた子どもたちの心理的リハビリを支援する大規模な国際プロジェクトにも携わっています。

【RIニュース】

ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援

ウクライナでの戦争により、民間人の避難が余儀なくされ、深刻な人道的影響が出ています。国連によると、350万人以上（その大半は女性と子ども）が近隣諸国とヨーロッパ全域に避難し、ウクライナ国内の避難民も約700万人に上っています。



難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員と迅速に支援活動へ乗り出しています。

4月1日時点での最新のプロジェクト

第2231地区（ポーランド）のクラブは、50,000ドルの災害救援補助金を活用して、ウクライナから逃れてきた難民に移動手段、宿泊場所、食料、医療援助を提供しています。

第2240地区（チェコ共和国）は、被災者のために寝袋、医薬品、食料、除細動器、心電図装置、酸素濃縮器など5万ドル相当の物資を購入しました。

ドイツの地区ガバナーは、会員による取り組みやオンラインでの支援活動の調整にあたる全国規模のタスクフォースを設置しました。政府機関や非政府組織との窓口となるタスクフォースの事務局は、ベルリンに設置されています。

フランス全土のロータリークラブが力を結集して、難民のための必要物資の収集と配布にあたっています。国内のクラブから寄せられた寄付と物資は、地区ガバナーが取りまとめ、ウクライナのロータリークラブの支援のほか、ポーランドとルーマニア経由で難民の支援や、難民のフランス移送などに役立っています。ニーズの特定は、フランスがかかわる複数の国際共同委員会が行っています。

第1910地区（オーストリア）は、25,000ドルの災害救援補助金を活用して、逃れてきたウクライナ難民のために、宿泊場所、ベビー用品、医薬品、衛生用品、心のケア、食料、電化製品などを提供しています。

クラゲンフルト・ヴェルタージー・ローターアクトクラブ（オーストリア）の会員は、ウクライナ避難民を援助するために医薬品、食料、寝袋、発電機を集め、ポーランドとウクライナの国境に届けています。

欧州のローターアクト

欧州全域のローターアクトの多地区合同情報組織「欧州ローターアクト情報センター」は、難民とボランティアのための情報をまとめたサイト「United for Peace」（平和のための団結）を開設しました。サイトには、難民が利用できる無料の鉄道、バス、航空機に関する情報に加え、必要とされている支援や物資、各国地域での支援方法のリストが掲載されています。そのほかウクライナ西部の都市リヴィウの病院や、各地で支援を行っているクラブ、地域の他団体のための募金の詳細も掲載されています。

サイトは、国境で行き場をなくしている難民のための避難所をローターアクトが手配するのにも役立っています。

難民の宿泊のために自宅を提供できるボランティアは、オンラインフォームから登録し、宿泊できる人数と期間を指定できます。当初、このサイトはウクライナを逃れるロータリー会員を援助するための取り組みとして開設されましたが、現在は、援助を申し出る欧州全土のロータリー会員によって利用されています。必要とされている物資と寄贈物資をつなげる役目を果たしているこのサイトは、緊急のニーズを満たす方法について10カ国、60人のチームがビデオ会議で協議してから48時間以内に立ち上げられました。

ウクライナ

ウクライナには62のロータリークラブと6の衛星クラブがあり、その会員数は約1,100人です。また24のローターアクトクラブがあり、その会員数は300人以上です。

第2232地区（ウクライナとベラルーシ）は、この危機の影響を受けた人びとを支援するための委員会を結成しました。委員会は、生活必需品を確保するための募金に乗り出し、世界中のロータリー会員に支援を呼びかけています。

リヴィウ市には、ウクライナの他の都市からの避難民が流入しています。リヴィウ・インターナショナル・ロータリークラブは、地方自治体や主要病院と協力して、避難民がアクセスできる救援物資のオンラインリストを作成しました。寄贈物資を病院に届け、現地倉庫で保管するための手配は、会員が行っています。

ポーランド

ポーランドは100万人以上の難民を受け入れており、国内のロータリークラブが寄付窓口となる口座を開設しました。

オルシュティン・ロータリークラブは、地元市民センターに設置された難民キャンプに滞在する150人以上のウクライナ人のために寄付を集めました。難民の多くは、ウクライナにいる親を離れてやってきた身寄りのない子どもたちです。センターが難民の受け入れを開始してから数時間以内に、食料、衣類、洗面用品、おもちゃなどの物資をいっぱい積んだ4台の車が寄贈されました。

ザモシチ・ロータリークラブは、医療用品の流通会社を経営するボルシュティン・ロータリークラブの会員と協力して、物資や医療用品を集めるために他団体との連携を手配しました。

グダニスク・セントラム・ロータリークラブは、難民である4家庭に宿泊施設を提供し、会社経営者である会員たちがこれらの家族に仕事を提供しています。

ウクライナと国境を接するそのほかの国

ハンガリーのキシュバールダ・ロータリークラブは、募金を取りまとめ、会員総動員で生活必需品を寄贈し、難民たちに届けています。

ルーマニアとモルドバのロータリー会員は、寄付の窓口となる基金を設置し、食糧の寄贈や難民の宿泊手配を行うためのWhatsAppグループを立ち上げました。

スロバキアとチェコ共和国では、クラブが鉄道・貨物会社と提携し、約2,300人の難民の移動手段を提供しています。

執筆協力: Kim Widlicki, Claudia Brunner

【地区活動報告】

2021-2022年度 国際ロータリー第2640地区 地区大会

地区は、3月27日(日)フェニーチェ堺で、本年度の「地区大会」本会議を開きました。本年度もコロナ禍のため、当初の予定を変更し、地区役員、クラブ会長、幹事等に出席者を限定し、感染防止に対応した開催となりました。

歓迎のジャズ演奏でオープニング。豊岡 敬ガバナーの開会宣言、点鐘で開始し、堀野 俊男 実行委員長が挨拶。続いて、吉村 善美 富田林市長が来賓あいさつを述べました。次にRI会長のビデオメッセージ、地区内現況報告、登録者数報告、信任状報告、午前中に開いた選挙人会議の報告で大会決議などが行われました。



続いて、基調講演では、建築家の安藤忠雄氏から「人生100年 いかに生きるか」の講演があり、ユーモアを交えたバイタリティーの溢れたトークで大会を盛り上げました。

また、この後の表彰式では、地区大会記念ゴルフの表彰、意義ある奉仕賞など、各部門の表彰が行われました。最後は、ホストクラブ・富田林ロータリークラブの辰巳 泰啓会長の閉会宣言で幕を閉じました。

なお、当日の様子は、YouTubeでライブ配信されました。



2022-2023年度のための 会長エレクト研修セミナー(PETS)

地区は、3月19日(土)10:30から、和歌山県JAビルで、次年度のための 会長エレクト研修セミナー(PETS)をZOOM併用で開きました。初田次年度地区代表幹事の司会で進行、森本ガバナーエレクトの開会点鐘で始まりました。各クラブの会長エレクトが一堂に会し、次年度のスタートに向けて午後4時まで研修しました。

初めに次年度研修リーダー、地区役員、特別幹事、幹事、地区委員長紹介があり、豊岡ガバナーが挨拶。中野次年度地区研修リーダーからセミナーの趣旨説明がありました。続いて、森本ガバナーエレクトから国際協議会報告として、次年度 RIテーマ「イマジン ロータリー」、次年度のガバナー基本方針として、次年度の地区スローガン「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」など、会員増強や課題を説明しました。次に「クラブ会長の役割等」のテーマで、中野次年度地区研修リーダー(PDG)が講義し、会長の役割などの説明がありました。



このほか、次年度予算(案)の説明や公式訪問の日程、今後の行事予定などの説明、次年度地区委員会活動および依頼事項について、①社会奉仕委員会 ②青少年交換委員会③ロータリー財団委員会④米山記念奨学委員会⑤会員増強・維持／女性活躍・推進委員会⑥雑誌・公共イメージ委員会⑦IT・ガバナー月信委員会⑧オンソー・メルボルン委員会の活動計画をそれぞれ次年度委員長が説明しました。

最後に、RI日本事務局の概要と最近のRIの活動について、動画を視聴し閉会しました。出席した各クラブの会長エレクトは長時間、熱心に受講し、次年度に向けて始動しました。



ロータリー財団補助金管理セミナー（Zoom配信）



地区は、3月12日（土）13:00から、けやきONE 4階会議室をホームステーションにZOOM配信で、2021-2022年度のロータリー財団補助金管理セミナー開きました。

林 俊行 地区R財団補助金小委員長の司会



で進行、豊岡 敬ガバナーの点鐘で開会。中野 均 地区R財団委員長から、ロータリー財団補助金について、説明があり、引き続き、財団学友の西岡 摩帆さんから、ロータリー財団学友帰国報告を受けました。

西岡さんは2018-2019年のグローバル奨学生でイギリスのノッティンガムでの留学についてスライドを画面共有で報告。



The University of Nottingham

- イギリス内で広いキャンパスの1つ
- 約30,000人の学生
- 中国とマレーシアにもキャンパスを持つ
- ノーベル経済学賞: Clive Granger



2022年3月12日 ロータリー財団補助金管理セミナー「イギリス・ノッティンガムでの大学院留学」

6

Wollaton Park地区のロータリアンとの交流 (2/2)

- RIBI Conference and Showcase 2019に参加
 - イギリスのロータリークラブが年に一度国内外での目立った活動を報告する会議
 - 大きなテーマはポリオの撲滅に係る活動報告
- プライベートでは、クリスマスディナー、日本料理、ダンス教室への参加、車いすテニス世界大会に参加



2022年3月12日 ロータリー財団補助金管理セミナー「イギリス・ノッティンガムでの大学院留学」

12



留学によって得られた体験や現地ロータリークラブの交流を通じて、多くのことを学び、素晴らしい留学であった旨の報告が行われました。

38クラブから、ロータリー財団委員長など、約60名の受講があり、地区からは委員、役員13名の参加がありました。R財団の重要性を再認識していただきました。

最後に、谷 宗光ガバナーノミニが閉会のあいさつをして終了しました。

【クラブ活動報告】

コロナ禍でもできる奉仕事業を模索 「こども絵画コンクール」

岩出ロータリークラブ

岩出ロータリークラブ(会長 戸口茂幸)は、2月27日(日)粉河ふるさとセンターにて表彰式&展示を開催。コロナ禍で様々な事業が自粛される中、三密を避け感染予防をしながら多数の人が参加型できる「こども絵画コンクール」を企画しました。



テーマは「わたしの好きなこと」と題して岩出市、紀の川市の4歳・5歳園児の皆さんに描いて頂きました。遠くに出かける機会が少なくなり、家の中で我慢することもあると思います。そんな時に楽しいことを思い、描いて欲しいと決めました。

各園のご協力で84枚が集まり、どの絵からも豊かな発想や思いが表現され元気に描かれていました。地元新聞に記事が掲載され、クラブ公式インスタグラムを活用しロータリーの公共イメージ向上の一助なり多くの家庭や幼保園と繋がれたと思います。



【クラブ活動報告】

第12回 ロータリーカップ2022

河内長野東ロータリークラブ

当クラブでは、サッカーの練習に励む近隣少年サッカーチームに、実際にプロサッカー選手が試合をするグラウンドで日頃の練習の成果を発揮してもらうことを目的として、ロータリーカップを主催しています。この大会の趣旨は、優劣・勝敗を一切問わず普段プレーすることの出来ないピッチで楽しくプレーすることで、「かけがえのない思い出」を作ってもらいことです。

本年度は、令和4年3月13日(日)、セレッソ大阪の協力の下、ヤンマースタジアム長居にて第12回ロータリーカップ2022を主催しました。

コロナウィルス感染状況に鑑み、例年より一ヶ月遅れにはなりましたが、おかげで春の訪れを感じる晴天の下での開催となりました。

選手は皆、本物のグラウンドに目を輝かせ、潑刺とプレーし、また、セレッソ大阪コーチ陣との交流戦においてもその実力を存分に発揮しました。

スタジアムでは、選手の元気な声はもちろん、観客席からの声援や拍手が鳴り止むことなく、選手やその家族、また、関係者全員が終始笑顔で一日を過ごすことが出来ました。



酒本アンバサダーとプレーする子供たち

言ト

幸反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

粉河ロータリークラブ



たにぐち としひで
谷口 寿英 様

2022年3月19日 逝去

在籍期間 33年
職業分類 歯科医師
表彰 PHF+4 第7回米山功労者

ロータリークラブへの入会

変化を生み出すロータリーの力の源は、世界46,000以上のクラブで活動する140万人の会員。友情で結ばれた会員は、地元での草の根の活動から、大規模な世界的活動まで、幅広く取り組んでいます。



入会できそうな友人、知人を是非お知らせください。新会員を紹介できるのは、現会員のみとなります。自分のクラブの会長、幹事、増強委員長にご連絡ください。

奉仕と友情の輪を広げよう



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol.264

2022年3月14日
発行

1. 故・齋藤直美前理事長を偲ぶ

第7代理事長として当奨学事業のために力を尽くし、昨年11月28日に83歳で逝去された齋藤直美氏を偲ぶ会が、2月26日に豊田市内ホテルにて開催されました。辰野克彦RI理事、佐藤芳郎RI理事エレクト、三木 明ロータリー財団管理委員会委員、当会からは若林紀男理事長、水野功副理事長、山崎淳一副理事長、ほか常務理事などが参加し、故・齋藤前理事長の足跡を静かに振り返りました。

偲ぶ会では、豊田RC実行委員長の河本輝雄氏の挨拶につづき、若林理事長に

よるお別れの言葉が述べられました。故人を偲ぶ映像では、ロータリアンそして家業である病院院長としての半生、家庭においてはよき父として、その生涯において多くの人々に影響を与え、親しまれたことが伝わってきました。



また、ロータリー財団管理委員会長のジョン F. ジャーム氏による追悼のビデオメッセージの披露、献奏、指名献花、一般献花が行われ、各自が心の中で氏のご冥福を祈り、別れを告げました。

2. モンゴル教育界の最高勲章を受章

米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99/山形北RC)が、昨年11月11日、モンゴル教育界における最高の栄誉、「モンゴル国功労者教員賞」をオフナー・フレルスフ大統領から授与されました。ジャンチブさんは2000年にモンゴル初の3年制高校「新モンゴル高校」を設立、その後小中高一貫校となり、さらには高専や工科大学を擁する「新モンゴル学園」として、日本にも多くの留学生を送り出しています。

♪ ジャンチブさんから喜びのコメント

これまでモンゴルの教育のために尽力してきた努力と小さな成果を高く評価していただき、心から嬉しく思うと同時に、一層のパワーがあふれています。この勲章は、これまで新モンゴル学園に関わってきたすべての先生・職員、また生徒たちが残した功績の結果です。私は常に「国造りは人造りから、人造りは教育から」と考えてきました。モンゴルの教育をさらに高めるため、今後は、公立学校の教育の質を向上



させることに注力したい。個人としても2019年4月から名古屋大学教育学研究科後期課程(博士課程)に入学し、この目標に添った研究を進め、フィールドワークとしてモンゴル国内8つの公立校を選定し改革を試みています。これからも日本のロータリアンの皆さんに見守っていただきたいです。

3. 寄付金速報 — 緩やかに回復傾向 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて0.9%減(普通寄付金:0.8%減、特別寄付金:0.9%減)、約940万円の減少となりました。まだ前年度寄付累計額には追い付かないものの、少しずつ好調に推移しています。ご寄付をいただきました

ロータリアンの皆さまに心より感謝申し上げます。コロナ禍の影響は少しずつ回復がみられそうなのものの、まだまだ今後の社会情勢を注視しなくてはなりません。引き続き今後ともご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

4. 洪水被災者への支援 — マレーシア米山学友会 —

マレーシアでは昨年12月17日から降り続いた豪雨の影響により各地で深刻な浸水被害が発生、10万人以上が避難を余儀なくされました。

これを受けてマレーシア米山学友会では12月31日、パハン州の被災者のためにガスコンロ50台と炊飯器11台を寄贈。黄麗容会長ほか3人が一台一台に学友会のシンボルマークを貼って送り出した物資は、救援団体を通じて無事に被災者へ届けられました。

さらに1月には、同学友会中央支部(クアラルンプール)がフル・ランガット地区被災者のために約5,000リンギット分の



学友会寄贈の印を貼る黄会長



中央支部(KL)ではフードバンクへ寄贈

食料品を寄贈する活動を実施しました。

黄会長は「被災者は資産のほとんどを失い、苦しみはまだ続いています。未来に向けて再び立ち上がる力となるよう、私たち米山学友は最善を尽くしたいです」と、語りました。

5. 巣立つ後輩へ — サコさんからスピーチ —



3月1日、第2580地区(東京・沖縄)の期間終了式が開催され、若林英博ガバナーから巣立っていく米山奨学生1人ひとりへ終了証が手渡されました。

この日は、京都精華大学学長を務める米山学友、ウスビ・サコさんをホームカミング制度で招へい。サコさんから後輩に向けて、「日本で居場所を開拓するには」と題した1時間のスピーチがありました。

母国ではない日本において、奨学生たちはどのようなアイデンティティを持って生きていくべきか。ロータリアンはどのように向き合うことができるか。多様性とは何か。各自がヒン

トを得ることのできる、大変充実した内容の講演となりました。また、ロータリー米山奨学生学友会(東京)のエンフボルド、ガンエルデネ理事長からは、学友会の活動紹介や積極的な参加のお願いがありました。コロナ禍のため参加人数は限られていましたが、奨学生たち、また、送り出すロータリアンの表情は終始晴れやかでした。



Rotary
Region 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2022年4月号

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

年度終盤に向けての、目標(特に会員増強)の進捗状況が気になる時期となりました。仮に、現状、厳しくても、まだまだ、3か月あります。残された期間、どう行動するのか?やれることは何なのか?ソフトバンクの孫正義さん風に「脳みそがちぎれる」位考えて、地区チームがベクトルを合わせ、スクラム組んで行動に移して行きましょう!!春爛漫です。スプリングに因んで、心弾むような、ワクワク感満載の第四四半期を祈念しています。

ロータリー日本100年史の100人のロータリアン、お読みになりましたでしょうか?ロータリアンの中のロータリアンともいえるべきロータリアンのお人となり、ロータリーに対する情熱、諸々のエピソードに触れ、これらの先人やそれぞれの地域、クラブでも、ロータリーを愛し活動された先人たちの歴史があって、私たちが、今、ロータリーを思う存分享受できる環境があるのだと感謝の気持ちで胸が熱くなってきました。日本の100人以外にも、ノーベル賞受賞者、各国財界人・文化人、35代ケネディ米大統領を含む多くの各国首脳など、一度は、お名前を聞いた方々もお出でなのは、皆さんご承知の通りです。正にロータリーは、人材の宝庫だとわかります。そんな方々と、例会で接点を持てたら、どんな会話をするのか。どんなロータリー談をお聞かせいただけるのか。などと考えてしまいましたが、現実の接点の中でも、尊敬してやまない素晴らしいロータリアンがたくさんお出でです。そんな皆様と同じ空間と時間を共有して交流や意見交換ができ、自己成長に繋げられるのもロータリークラブの大きな魅力です。自己成長から事業、業界の向上へ、ひいては社会の発展へと、それも、クラブ、地域、地区、国を超えての接点です。胸襟を開いて、自ら行動すると大きなチャンス、気づき、学びがあります。様々な機会を捉えて、交流しないのは勿体ないし、将来の行くべき道と目指すべき人とモデリングしないのは勿体ないと思いつつ同時に、これらの方々と接点からの交流はロータリークラブでの宝物だと感じています。そんな魅力を享受している私たちが、それぞれが感じるロータリーの魅力をそれぞれのこころで、熱く、どんな環境であれ、他人任せにしないで数多の方々にもっともっと熱心に話していければ、いや、話さないといけない!と感じています。

国立社会保障・人口問題研究所による2045年の推計人口を見ると、

全国	2015年	127,094,745人	2045年	106,421,185人	(83.7%)
秋田県	2015年	1,023,119人	2045年	601,649人	(58.8%)

地方においては、人と同じく、本社の県外流出が起きているとの話も聞きます。人口が減るということは、入会対象者の数にも、企業数にも大きな影響があると容易に想像できます。今、外的環境がコロナで厳しいのですが、今後、コロナが収束しても、人口問題、後継者問題、企業数問題で、私たちに更なる厳しさが襲ってきます。これからの外的環境はいつか戻るではなく、厳しくなる一方と退路を断って、今まで以上に皆で、もっともっと真摯に増強に向き合うそんな時だとこのコロナが教えてくれたのかも知れません。

国際協議会でジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトより2022-23年度RIテーマ「イマジン、ロータリー」が発表され、次年度の動きも活発化して、現・次年度とがリレーゾーンに入ってきました。今年度のソフトランディングでしょうか。しかし、トップスピードでのパッシングが理想です。

さあ、年度末まで良いイメージをしながら、勿論「目標達成」のシーンをはっきりとビジュアライズして、目標達成の為に、それぞれが感じるロータリーの魅力を、「ロータリークラブに在ること、素晴らしい経験を、素晴らしい仲間を、素晴らしい思い出を、素晴らしい学びを得たこと」そんなロータリーの魅力を是非、ご自身のこころで熱く数多の皆さまに、また、新会員へも語りましょう。

増強は、高邁なロータリー思想の継承と私たちが享受している素晴らしい環境を次世代に生成発展させ伝え残す最も大切な基本中の基本だと考えます。「やらなかったのか?物理的にできなかったのか?」自問自答しながら行動だ!

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 石黒 秀司(郡山RC)

就任前にエバンストンで研修がありました。財団のセッションは当然ですが、同行したRC、RPICと共に毎日合同セッションがありました。即ち国際ロータリーは財団と共にチームでロータリーを推進することを目指していることに、6月末の任期終了を前に強く願っています。今日は財団に拘った5年余りを三つの質問形式でお答えする事に致します。

<第1の問>:「ロータリー財団と申しますと『寄付ですか』と返ってきます。」何故そんなイメージが出来上がったのでしょうか。

<私の答え>:ロータリー財団は、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。この「自発的な寄付のみ」という部分について、「積極的に」とは書いていないから自分から特別な感情が生まれない限りは寄付をしないでも大丈夫だと考える人が、我が日本には多いことがわかりました。そのため、寄付をお願いすると「また寄付の話だ」と感じる会員が多いような印象がありました。

<第2の問>:PHS(ポール・ハリス・ソサエティー)に入会するにはどうするの。

<私の答え>:My ROTARYから簡単に入会できます。一つアドバイスですが、多くのPHS会員が、次年度以降の寄付を忘れてしまうことがあります。そこで私も忘れやすいので自動定期寄付を利用しています。この場合、日本円での寄付になりますので毎月変わるロータリーレートにご注意下さい。そのロータリー年度に該当の寄付が1,000ドル以上であれば良いのです。この自動定期寄付は(毎年・毎四半期・毎月)と自由に設定できます。ユニセフのマンスリースポーツは毎日100円からでした。PHSは毎日300円程度で「世界で良いことをしよう」と始められたロータリー財団を通じて、世界各地でサポートを待ち望んでいる人々への支援が出来るのです。

<第3の問>:ファンドレイジング(寄付推進)は何故難しいのか。

<私の答え>:例えば、年次基金(シェア)への寄付は地区の3年後の活動資金になるので、少ないと3年後の財源が少なくなります。地区の活動を十分に支えるためにも寄付推進は大切なことですが、クラブにとっては地区の資金の状況を直接実感することがあまり多くなく、この辺のバランスを取る重要性を感じた2年9ヶ月でした。補助金活動やDDFの寄贈など、地区から会員のみならずへ情報を伝える際に、さらにわかりやすい伝達を心がけていただくことも、寄付推進の成功につながる一つと思います。

最後に毎年、日本の「年次基金寄付ゼロクラブ0」を達成し、継続できましたことを心から感謝御礼申し上げます。今年度も残すところ3ヶ月と少しです。今年もお願いします。

4月23~24日PHS認証式が札幌市で開催されます。札幌でお会いしましょう。

第1地域 RRFC 羽部 大仁(札幌幌南RC)

第2640地区 会員数報告(2022年2月)

クラブ名	会員数			入会			退会			クラブ名	会員数			入会			退会			
	21.7.1	内女性	22.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性		累計	21.7.1	内女性	22.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性
串本	9	1	7	1	0	0	0	0	0	2	松原	15	0	15	0	0	0	0	0	0
那智勝浦	12	0	11	0	0	0	0	0	0	1	松原中	26	4	24	3	0	0	0	0	2
新宮	46	2	46	2	0	0	1	0	0	1	美原	5	1	5	1	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	7	1	7	1	0	0	0	0	0
田辺	80	3	82	3	0	0	2	0	0	0	太子	17	1	18	1	0	0	2	0	1
田辺東	39	3	37	3	0	0	0	0	0	2	富田林	34	0	35	0	0	0	1	0	0
田辺はまゆう	27	4	30	6	0	0	2	0	0	1	ワールド大阪 ロータリーミクラブ	9	1	9	1	0	0	0	0	0
有田	26	1	27	1	0	0	1	0	0	0	泉佐野	20	0	20	0	0	0	0	0	0
有田南	27	1	25	1	0	0	0	0	0	2	貝塚	16	3	16	3	0	0	0	0	0
有田2000	17	0	15	0	0	0	0	0	0	2	貝塚コスモス	12	3	11	3	0	0	0	0	1
御坊	42	3	41	3	0	0	0	0	0	1	関西国際空港	18	1	18	1	0	0	0	0	0
御坊東	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	岸和田	33	1	31	1	0	0	0	0	2
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田東	40	6	39	6	0	0	0	0	1
海南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	岸和田南	9	0	9	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	41	6	0	0	1	0	0	0	KUMATORI 向日葵	9	2	8	2	0	0	0	0	1
海南西	18	2	18	2	0	0	0	0	0	0	りんくう泉佐野	15	3	16	3	0	0	1	0	0
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	羽衣	17	1	15	1	0	0	0	0	2
和歌山	72	1	75	2	0	0	4	0	0	1	和泉	21	0	25	0	0	0	4	0	0
和歌山アゼリア	27	9	28	9	0	0	2	0	0	1	泉大津	43	3	43	3	0	0	0	0	0
和歌山東	45	0	45	0	0	0	0	0	0	0	和泉南	56	2	55	2	0	0	1	0	1
和歌山城南	39	1	39	1	0	0	1	0	0	1	大阪金剛	12	1	13	1	1	0	1	0	0
和歌山中	22	0	21	0	0	0	0	0	0	1	高石	25	2	24	1	0	0	0	0	1
和歌山北	30	1	31	1	0	0	1	0	0	0	高師浜	9	1	11	1	2	0	2	0	0
和歌山南	79	5	79	5	0	0	1	0	0	1	堺	40	4	43	5	0	0	6	1	3
和歌山東南	35	6	36	6	0	0	1	0	0	0	堺東	19	3	19	3	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	9	1	0	0	0	0	0	1	堺泉ヶ丘	20	2	21	3	0	0	1	0	0
橋本	46	0	45	0	0	0	1	0	0	1	堺中	21	3	20	3	0	0	0	0	1
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺北	31	1	28	1	0	0	0	2	3
河内長野高野街道	17	3	17	3	0	0	0	0	0	0	堺おおいずみ	27	3	27	3	0	0	0	0	0
粉河	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0	堺フェニックス	9	4	9	4	0	0	0	0	0
高野山	19	0	16	0	0	0	0	0	0	3	堺清陵	23	4	22	4	0	0	0	0	1
羽曳野	9	0	10	0	0	0	1	0	0	0	堺南	9	0	9	0	0	0	0	0	0
河内長野	18	4	19	4	0	0	1	0	0	0	計	1,634	129	1,634	133	3	0	42	3	42
河内長野東	20	1	22	1	0	0	2	0	0	0										



クラブ数	2021年7月1日 会員数				2022年2月末 会員数				2月入会				2月退会				増減			
66	男性	1,505	女性	129	男性	1,501	女性	133	男性	3	女性	0	男性	3	女性	0	男性	0	女性	0
	1,634				1,634				3				3				0			

※和泉南RC 7/1付け 1名入会

※橋本RC 7/1付け 1名入会

2021-2022 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2022年3月25日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2022年3月25日	1,638	676	41.27%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	7	1	14.3%
那智勝浦	11	3	27.3%
新宮	46	17	37.0%
白浜	10	6	60.0%
田辺	82	49	59.8%
田辺東	37	10	27.0%
田辺はまゆう	31	10	32.3%
分区計	224	96	36.8%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
和歌山	74	53	71.6%
和歌山アゼリア	28	7	25.0%
和歌山東	45	30	66.7%
和歌山城南	39	11	28.2%
和歌山中	21	6	28.6%
和歌山北	31	7	22.6%
和歌山南	79	15	19.0%
和歌山東南	36	11	30.6%
和歌山西	9	1	11.1%
分区計	370	148	39.1%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	19	19	100.0%
河内長野東	22	2	9.1%
松原	15	7	46.7%
松原中	24	7	29.2%
美原	5	0	0.0%
大阪狭山	7	6	85.7%
太子	18	10	55.6%
富田林	35	11	31.4%
分区計	155	64	42.0%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	15	11	73.3%
和泉	25	5	20.0%
泉大津	43	12	27.9%
和泉南	55	8	14.5%
大阪金剛	13	10	76.9%
高石	24	10	41.7%
高師浜	11	8	72.7%
分区計	186	64	46.7%

100% 達成クラブ

貝塚ロータリークラブ

河内長野ロータリークラブ

2021-2022年度

登録率目標

65%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	27	15	55.6%
有田南	25	3	12.0%
有田2000	15	9	60.0%
御坊	41	15	36.6%
御坊東	15	5	33.3%
御坊南	15	4	26.7%
海南	9	6	66.7%
海南東	41	34	82.9%
海南西	18	0	0%
分区計	206	91	41.5%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	45	4	8.9%
岩出	24	7	29.2%
河内長野高野街道	17	10	58.8%
粉河	17	11	64.7%
高野山	16	9	56.3%
分区計	119	41	43.6%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリーEクラブ	11	7	63.6%
泉佐野	20	9	45.0%
貝塚	16	16	100%
貝塚コスモス	11	7	63.6%
関西国際空港	18	4	22.2%
岸和田	32	8	25.0%
岸和田東	39	26	66.7%
岸和田南	9	1	11.1%
KUMATORI向日葵	8	3	37.5%
りんくう泉佐野	16	7	43.8%
分区計	180	88	47.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	43	13	30.2%
堺東	19	14	73.7%
堺泉ヶ丘	21	6	28.6%
堺中	20	4	20.0%
堺北	28	9	32.1%
堺おおいずみ	27	9	33.3%
堺フェニックス	9	7	77.8%
堺清陵	22	21	95.5%
堺南	9	1	11.1%
分区計	198	84	44.7%

目標達成 13クラブ

4月の行事予定表

日 付	行 事	場 所
2(土)	第10回ガバナー補佐・幹事合同会議(ZOOM可)	けやきONE401
	第4回次年度ガバナー補佐・幹事合同会議(ZOOM可)	けやきONE401
3日(日)	RLI パートII	ZOOM
9日(土)	田辺はまゆうRC創立30周年記念式典	ホテルハーヴェスト南紀
10日(日)	米山奨学生入学式及びオリエンテーション・カウンセラーセミナー	和歌山県JAビル 和ABC
17日(日)	地区研修・協議会	和歌山大学
	ローターアクト三役研修会	和歌山大学
19日(火)	有田南RC創立45周年記念例会	橘屋
21日(木)~22日(金)	クラブ活性化セミナー2022	JPタワーホール&カンファレンスホール
23(土)	和歌山RC創立85周年記念式典	ホテルグランヴィア和歌山
	第6回ローターアクト委員会(ZOOM可)	ガバナー事務所
24(日)	堺東RC創立50周年記念式典	アゴーラリージェンシー堺4F
29(金)~5/1(日)	第40回 青少年・ライラセミナー	和歌山県立白崎青少年の家

ガバナー月信の表紙写真 ご提供のお願い!

ガバナー月信の表紙写真をご提供ください。

第2640地域内でご自身が撮影された写真(著作物の利用を許可できる作品)をご提供ください。

風景など、地域の様子をご紹介していただける写真(データ)をお願いします。

なお、ご提供が多数ある場合は、編集会議で協議し、決めさせていただきますので、予め、ご了解ください。 何卒、ご協力をお願い申し上げます。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室

TEL (073) 426-2640

FAX (073) 426-2660

e-mail : toyooka@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分

阪和道、和歌山インターから約10分

